

札幌ろうあ老人クラブ



老人クラブ ニュース

6月号

2024

発行者

沼沢 一夫

編集者

中根 伸一

会務報告

来る5月9日は、1年間の活動を「総括」する日になります。欠席する場合は、委任状のハガキを投函するようお願いいたします。

会計部長高島さんと総務部長中根が、札幌市本庁へ2023年度の報告書を提出するために訪問しました。細部をチェックされ、補助金が認可されると5月下旬に入金される予定です。

老人クラブ活動で一番大きな柱は「社会生活美化運動」です。来る6月20日10時から11時まで社会福祉総合センターの前庭で行います。年間の、会員参加延べ人数が目標数を越えることが義務づけられています。やらない人が多いと、目標数を越えるまで回数が増やされます。準会員も参加して下さるようお願いいたします。なお、7月は、身障福祉センターで2回目を予定しています。幸い身障福祉センターで手話を学習している「西区手輪の会」から一緒に清掃活動をしたいと申し入れがありましたので、活動人数の増加報告が出来ますね。11時に終わったら、そのまま身障福祉センターで手輪の会の例会に参加し「交流会」を行います。

それは、私たちの社会生活美化運動が40数年間続いて、老人クラブ清掃活動が広く認知された証「あかし」でもあります。

コロナ禍で、途絶えた西区手輪の会と交流を再開出来るのが楽しみです。

6月の行事表

6月6日	10:00~ ラジオ体操と会務報告 11:00~ ろうあ者社会生活教室 「ホームヘルパーの経験を通して」	情報センター 大会議室 札幌協 女子部役員 今野友子様
6月13日	10:00~14:00 北海道「開拓村」の見学会 昼食持参、飲み物配布 (身障手帳持参)	情報センター 前に集合。 福祉バスで 往復あり、 詳しくは後で
6月20日	10:00 ラジオ体操と会務報告 11:00 全国ろうあ者大会報告 P/Pで放映あり。	情報センター 研修室 畠山啓子様
6月27日	10:00 誕生会(4・5・6月生まれ)余興をします。 対象外の方は200円 11:00 老人寺子屋 「北海道の市町名を手話で出し合う」	情報センター 大会議室 とも支援

知識の泉

「ライドシェア」ってなあに

「ライドシェア」とは、一般ドライバーが、有料で人を運ぶサービスです。タクシー不足を解消するために、現在、東京方面で始まりました。やがて全国に広がる予定です。スマホで予約すると、都合のいい自家用車のドライバーが紹介され、利用できます。タクシーよりも料金が安いという利点がありますが、万一、事故が起きた時に補償がどうなるかという問題があります。また、我々障害者に対して、きちんとした対応をしてくれるのかも、まだ、わかりません。

(T/T記)

きふ
ご寄附ありがとうございました (5月10日現在)

品名	寄付者名	金額
・寄付金	中根 伸一様	5,000円
・ボールペン(8本)	三上 圭江様	
・寄付金	匿名 様	3,000円
・マジック(3本)	畠山 啓子様	
・香典返し	梅津禧世子様	
・寄付金	前島 直也様	500円
・雑巾(15枚)	芦舘 聖子様	
・小物作品(20個)	芦舘 聖子様	
・切手(1枚)	中根 伸一様	84円
・コースター(22枚)	佐藤百合子様	
・寄付金	佐藤百合子様	2,200円
・切手売上	北区W新分会様	1,512円
・切手(207枚)	谷水 夫婦様	8,747円
・切手(147枚)	谷水 夫婦様	3,912円
・飴玉(5袋)	沼沢 一夫様	
・飴玉(3袋)	谷水 夫婦様	
・西洋紙売上(30枚)	札幌協高齢部様	100円
・使用済切手(585枚)	中村 修様(会員外)	
・青い鳥ハガキ(20枚)	中根 伸一様	1,160円
・使用済切手(15枚)	長谷川マリ様	
・寄付金	工藤三重子様	5,000円
・寄付金	長谷川マリ様	200円

未記名の方は次号へ 合計 26,315円

2024年度「会費」納入者数(4月31日現在)

- 会費 納入者 29名
- 準会員 納入者 4名
- 退会者 2名
- 新入会員 2名

現会員 49名
準会員 8名

会員・準会員募集中(あなたもぜひ)

新年度(4月1日から)の会費は年1,500円です。私たちと一緒に楽しく交流しませんか。会場は情報センターで毎週(木)10時から12時までです。

野村 裕幸さん(82歳)

- あなたはどこで生まれましたか?
●戦前の昭和17年、満州です。
○大変でしたでしょう。どのようにして引揚げたの
●家族5人で全員無事に帰国しました。僕は避難中3歳でした。高熱で耳が聞こえなくなったので、よく覚えていません。
○「舞鶴」から北海道へ?
●いや違う。まずいったん福井県の親戚宅に身を寄せてしばらくして北海道のオホーツク地方の雄武町へ移住しました。
○雄武町はいい所ですね。
●ハイそうです。毛ガニはすごくうまいよ。友人の船人から安く買えてたくさん食べました。でも冬になるとすごく寒くてマイナス40度になります。
○どこの聾学校に入りましたか?
●2年遅れて旭川聾学校に入りました。同級生は32名で大世帯でした。「8ノ8」校舎の講堂があてがわれ、そこが教室兼寄宿舎となりました。昼間は座机を並べ、夜は布団を敷く生活でした。
○32名の大世帯は今でも破られていない記録だと思います。その後の後輩たちは、体育館の中に教室を作って勉強したものですね。
●そうです。遊ぶところがなくなったね。
○新校舎へ移ったら自分たちの教室を持って良かったと思えました。夏休みと冬休みはどのように雄武へ帰省しましたか?
●小学4年まで親が迎えに来たが、5年生から自分で帰りました。
○大変でしたね。ところで高等部は?
●札幌聾学校に進学して理容科で学びました。卒業後、2年間インターンで修行しすぐ「雄武町」で自営しました。歳を取ったので、自営を辞めて、その後札幌に移り住みました。今はほほえみの郷に夫婦で住み始めて1週間になります。
○もう慣れましたか?
●まだ慣れていないが、みんな手話で話し合っているから安心です。(N記)